



Message

このたび来日する機会を得ましたことを大変嬉しく思います。日本は美しい国であり、だれもが礼儀正しく、親切な素晴らしい市民社会です。また、日本は私の思索上、重要な国でもあります。と申しますのも **MI** 理論を構築する過程で、鈴木メソッド（音楽演奏を教えるための教育哲学）や日本文化等が大いに参考になりました。

さて、こうして来日できましたのも、*日本 **MI** 研究会の支援のお陰です。この場をかりてお礼を申し上げます。また、2003年に引き続き、講演会主催を快く引き受けて下さった東京大学、ソニー教育財団、ソニー株式会社、及びご協賛くださったスパイラルスター・ジャパン株式会社、理工協産株式会社、都築国際育英財団、リンデンホール小学校の方々に心より感謝申し上げます。

学者としてある理論で認められると、講演内容を選択する際にディレンマに陥ることがあります。恐らく、私の場合、**MI** 理論を題材に話すことが一番期待されていると思うのですが、研究者としては、現在私が取り組んでいる研究についてぜひお話ししたいと思うのです。そこで今回の日本講演ではその両方を上手く、取り合わせて話そうと考えています。すなわち、**MI** 理論を織り交ぜながら、最近の私の研究、“**Changing Minds**”（「リーダーなら、人の心を変えなさい」）と“**Deep Understanding**”（「教育で深い理解を達成させるには」）について講演をすすめていきたいと思います。

先日、波多野宜余夫氏の悲報が届きました。波多野氏は日本の秀でた学者でもあり私の友人でもあります。ご冥福を心よりお祈り申しあげ、この講演を彼に捧げたいと思います。

ハーバード大学教育学大学院、認知・教育学教授

ハワード・ガードナー

ご挨拶

日本 **MI** 研究会（**JMIS : Japan MI Society**）名誉会長ハワード・ガードナーによる講演会を開催し、各界でご活躍の皆様にご案内できることを光栄に思っております。

講演会はガードナーの研究を皆様にご知っていただき、それぞれのご専門分野で活用していただくことを目的にしております。

このパンフレット(各会場共通)にガードナーの代表的な研究の一部を簡潔に紹介いたしましたので、ご参考にしていただければ幸いです。当企画にご賛同、ご協力、ご参画いただいた数多くの皆様に深く感謝の意を表します。

日本 **MI** 研究会
会長 上條 雅雄

* ハワード・ガードナー氏が提唱した **MI** 理論から **GoodWork Project** までの理論及びフレームワークを研究し、その成果を実社会に還元することを目的としています。本研究会はハーバード大学教育学大学院 **Project Zero Summer Institute** 修了者有志により発足し、ハーバード大学と密接な関係を保ち、日々研鑽に励みながらその輪を広げております。